

ヒアリング資料

(日本酒プロモーター 吉武理恵氏)

世界に翔け 日本酒！

日本酒のグローバルなブランド化のための検討会

2019年 11月1日 国税庁



日本酒プロモーター 吉武理恵 (UK)

テーマ

- ① 日本酒の海外市場開拓における英国の重要性
- ② 英国（欧州）市場に関して
- ③ 提案

① 海外日本酒市場開発における 英国（ロンドン）の重要性

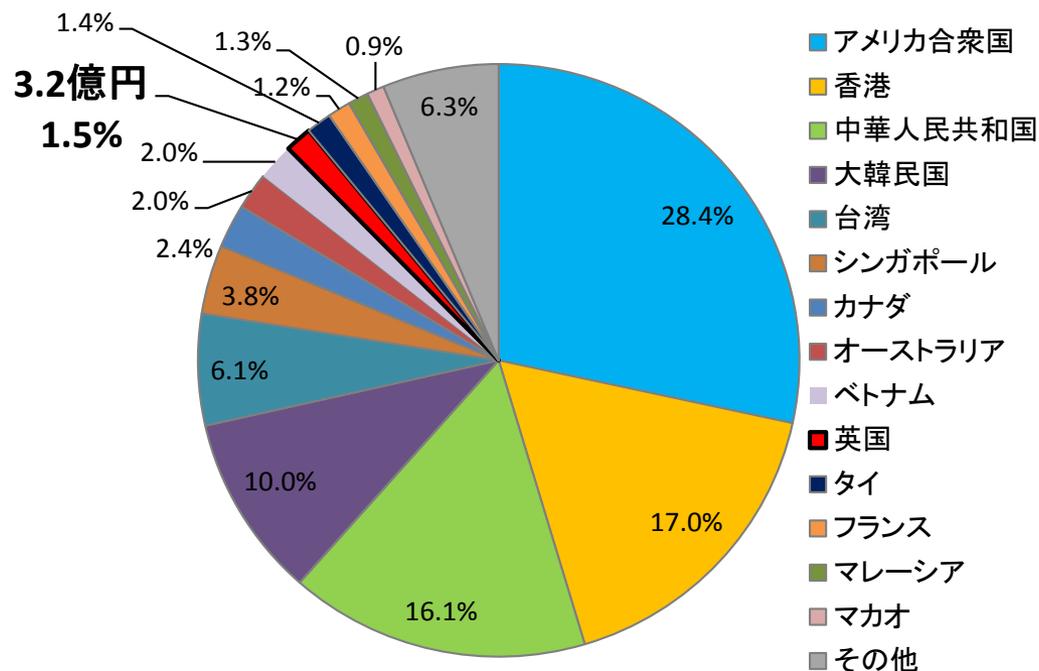
- ▶ 情報発信力：グローバルメディアのハブ
世界市場への広告塔
- ▶ 世界ワインビジネスのハブ
'The capital of the wine business'

① 海外日本酒市場開発における 英国（ロンドン）の重要性

- ▶ 世界最高の教育機関、大学など
- ▶ 世界のトレンドセッター
- ▶ 伝統と革新が共存 Tradition & Innovation

英国への日本酒輸出額 (2018)

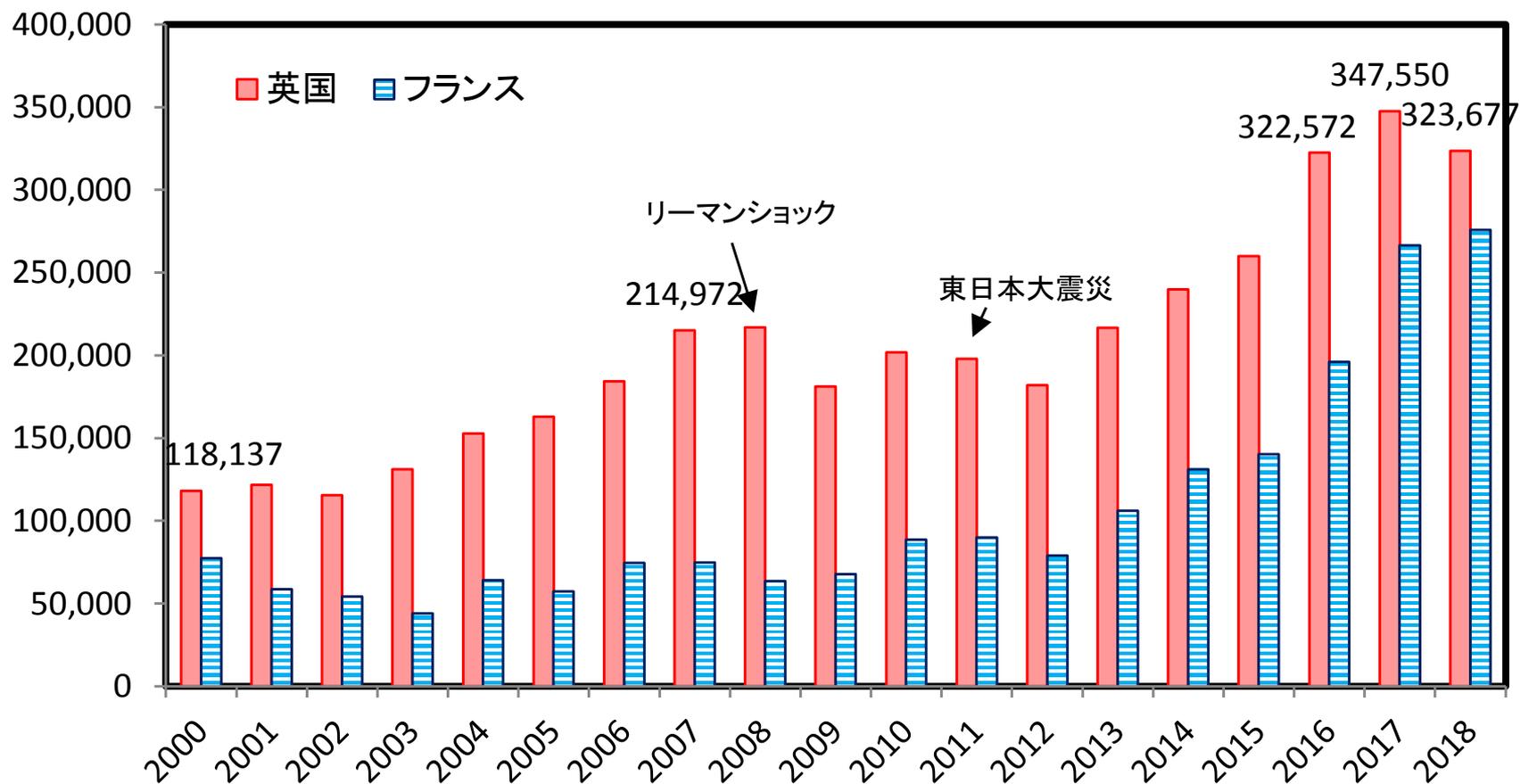
金額(FOB)ベースで 3億2,300万円 (シェア1.5%、第10位)
欧州内では金額ベースで第1位の市場



合計 22,231,502千円

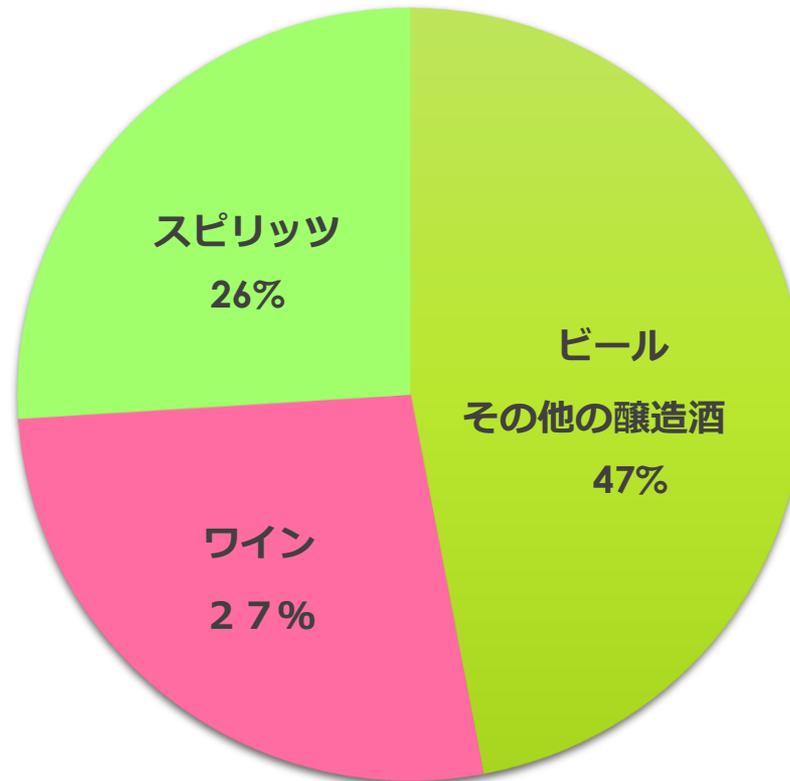
英・仏への日本酒輸出額（FOB）の推移

(千円)



② 英国市場 アルコール飲料業界の規模

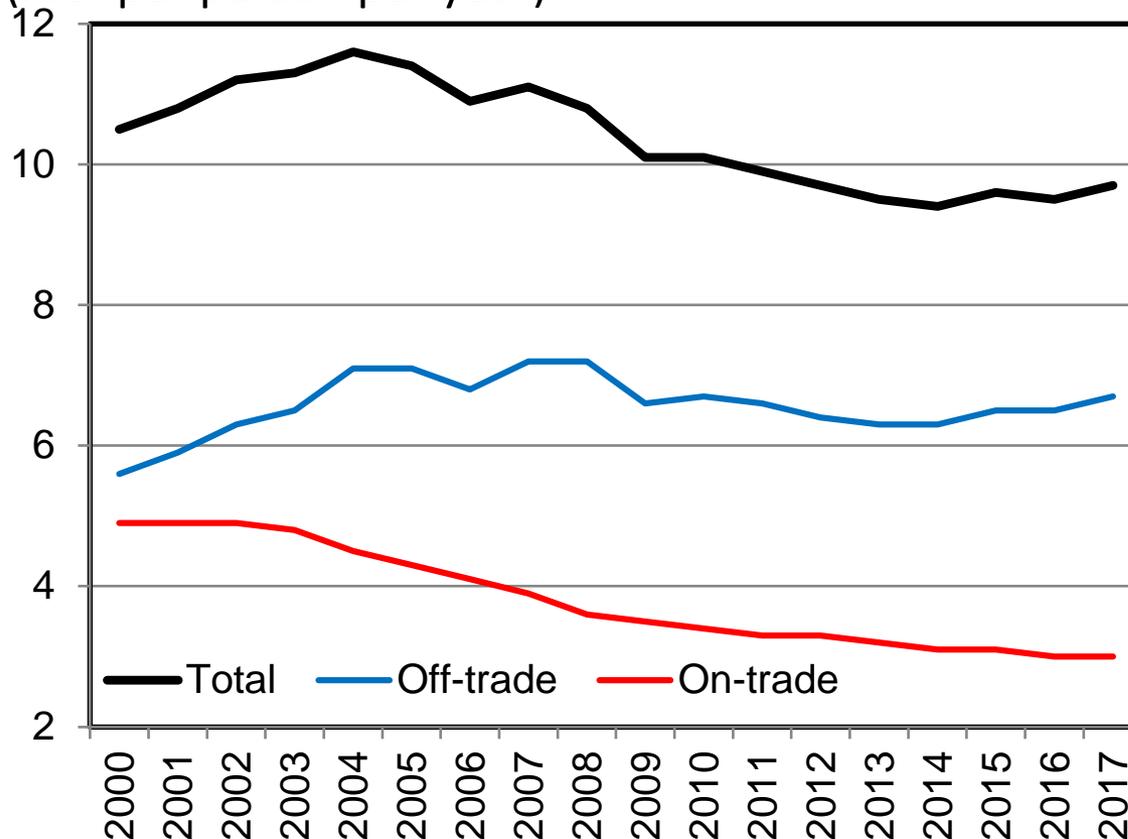
総売り上げ額 £40.3bn 約5.8兆円 (2017)



英国のアルコール飲料市場：消費量の推移

オントレード（レストラン・パブ等）での消費から
オフトレード（自宅）での消費へと移行

(liter per person per year)



個人アルコール消費量

オフトレード（小売→自宅）

消費の80%は小売

オントレード（外食）

英国の日本酒市場 現状

- ▶ 日本酒は全アルコール飲料市場の0.1%未満（金額）
→ 認知度は非常に低く、**誤解**されている

Misconception about Sake

1. Strength/Alcohol

X *'SAKE is too strong!*



Misconception about sake

2. Temperature

X *' Sake should be served hot'*



Misconception about sake

3. Food & Sake

X *'Sake only goes with sushi!'*



英国の日本酒市場 現状

- ▶ 日本酒は高すぎる

日本国内小売価格の4-5倍（小売）、レストランは7-10倍
英国ワイン小売平均価格 £6 日本酒は £30 くらい

- ▶ 日本酒の80%以上は日本食レストランで消費

→ ワイン（家庭消費80%）とは全く逆の症状
小売ビジネスが育っていない。

英国の日本酒市場 現状

- ▶ 英国の日本酒の80%以上は日本食レストランで消費
→ ワイン（家庭消費が80%）とは全く逆の症状
流通網が広がっていない
- ▶ しかしながら、日本食レストランでの日本酒試飲率は20%以下
ほとんどの人がビールかワインを飲んでいる

英国の日本酒市場 現状と課題

▶ 日本からの輸出がボトルネック

→ 英国のインポーターの日本酒銘柄が飽和状態

これ以上の蔵元は扱えない。共食い現象（英国インポーター）

→ 「輸出はしたいが UKのインポーターが見つからない！」（蔵元の声）

WHY ?

現地のアルコール流通網に食い込んでいない

日本酒市場拡大の対策

日本酒ビジネス (B)を育てるためにも

一般消費者 (C) 向けの
日本酒イメージ向上PRが急務

需要を喚起

‘SAKE 飲んでみたい!’

英国（欧州）の日本酒市場開発 対策

- ▶ **現地市場を理解**することから始めましょう
- ▶ ビジネスを育てるためには一般消費者への認知度拡大が急務
継続的、戦略的キャンペーンが必要（一過的なイベントではなく）
- ▶ ファッションではなく、食文化として定着させる

ロンドンの日本酒プラットフォーム

Sake One Team!

- **日本酒業界チーム (Sake Family、 sake girls)**
- 日本政府機関：大使館、JETRO, 地方自治体, JNTO, Japan Houseなど
- 日英議員連盟と日英企業スポンサーなど
- IWC, WSETなど審査会や教育機関
- 英国の有名大学：オックスフォード、ケンブリッジ、ロンドン大学など)
- 日本酒愛飲家、メディア、ジャーナリストたち

多くの影響力のある組織や個人が一団となって日本酒を応援しています

日本酒 最大のPRチャンス到来！



